

平成 22 年 4 月 5 日

各 位

上場会社名 株式会社アールテック・ウエノ
(コード番号: 4573 大証ヘラクレス)
本社所在地 東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 7 号
代 表 者 代表取締役社長 真島 行彦
問 合 せ 先 ビジネスマネジメント部長 中村 宏司
電 話 番 号 03 (3596) 8011

ラタノプロスト点眼液 0.005%の国内製造販売承認申請に関するお知らせ

このたび、当社はラタノプロスト点眼液 0.005%の国内製造販売承認申請を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、緑内障・高眼圧症治療薬としてラタノプロスト点眼液 0.005%の国内製造販売承認の申請を行いました。

製造販売承認申請を行ったラタノプロスト点眼液 0.005%は、当社が新薬開発で構築してきた独自の製剤技術を活かし、先発品と比較して、種々の副作用が報告されている防腐剤（ベンザルコニウム塩化物）濃度を著しく低減した処方となっております。

当社は 1994 年より新規緑内障・高眼圧症治療薬としてレスキュラ®点眼液 0.12%を製造・販売してまいりました。当社は、患者様に安全な製品を安定供給するだけでなく、よりよい製品を患者様にご提供するためにレスキュラ®点眼液 0.12%の処方変更も積極的に行ってまいりました。プロスタグランジン関連緑内障・高眼圧症治療薬には、プロストン系のレスキュラ®点眼液 0.12%と、ラタノプロストに代表されるプロスト系とがあり、プロストン系は安全性の高さにより主に初期緑内障の患者様への選択肢となり、プロスト系は更なる眼圧下降が必要な患者様への選択肢となります。当社は、レスキュラ®点眼液 0.12%とは作用機序が異なるラタノプロスト点眼液 0.005%を当社の緑内障・高眼圧症治療薬としてラインナップすることにより、病態によるプロスタグランジン関連薬の使い分けが可能になります。選択肢が増えることにより、より多くの患者様の治療に貢献したいと考えております。

今後海外市場においては、先発医薬品と比べてより工夫を加えた当社のラタノプロスト点眼液 0.005%の販売提携先を模索しながら製造販売承認の申請を目指してまいります。

・レスキュラ®点眼液 0.12%について

代謝型プロスタグランジン誘導体であるプロストンを使った世界初の緑内障・高眼圧症治療薬です。レスキュラ®点眼液 0.12%にはイオンチャンネル開口薬としての薬理作用があり、眼圧下降作用だけでなく、視神経保護作用 (in vitro) や正常眼圧緑内障において眼血流改善作用があることが報告されています。1994 年の発売以来、世界 45 カ国で承認されました。2009 年には処方変更により種々の副作用が報告されている防腐剤（ベンザルコニウム塩化物）濃度を当社独自の技術により大きく低減しました。

・ラタノプロスト点眼液 0.005%について

プロスタグランジン誘導体であるプロスト系緑内障・高眼圧症治療薬で、レスキュラ®点眼液 0.12%とは作用機序が異なり FP 受容体に作用して優れた眼圧下降効果を持っています。

・アールテック・ウエノについて

株式会社アールテック・ウエノは1989年9月、医薬品の製造販売、研究開発を目的に設立された創薬バイオベンチャー企業です。医学博士でもある社長のもと「Physician-Oriented New Drug Innovation」（臨床医による新薬開発）をテーマとし、これまで有効な治療薬のない眼科・皮膚科疾患をターゲットに新薬の開発を行っております。

当社は、「医師の目線で医薬品販売・開発を行う分野特化型（眼科・皮膚科）のグローバルな医薬品会社」を目指しており、国が推奨および支援するアンメット・メディカル・ニーズ（未だ満たされていない医療ニーズ）対応や希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）、アンチエイジング領域（生活改善薬）の新薬の開発を進めております。

当社の主力製品であるレスキュラ®点眼液0.12%は、創業者の上野隆司博士が1980年代に発見した「プロストン」を世界で初めて活用した緑内障・高眼圧症の治療薬として1994年より日本において発売されています。

レスキュラ®点眼液0.12%は、眼局所及び全身性の副作用が少なく、1日2回の投与で安定した眼圧下降作用をもたらす、視神経保護作用と眼血流増加の作用メカニズムによりすぐれた治療効果を発揮します。

以 上